



「秋の声」
2002年
第76回国展入選

「秋の声」

片 岸 法 恵

VOICE of AUTUMN

Norie KATAGISI

I. 制 作 目 的

着物離れと言われる現代「着物に興味はあるが、手入れに時間と手間がかかる」と敬遠されがちである。しかし、体型が極端に変わらなければ、多少のことは許容でき、親・子・孫と代々受け継いでゆける物である。日常着として着る事が非常に少なくなっているが、着馴れると、不便は感じない。

この様なことを踏まえ、もっと多くの人に着物の良さを見直し、日常着として着てもらうことを目的として、縞の紬の着尺を日常着として制作した。

糸の染色には、身近にある植物を中心に使用した。

II. デ ザ イ ン

テーマ・暑い夏を過ぎ心休まるさわやかな風と芳醇な実りを感じるイメージ
幅広い年齢層に対応する縞のデザインとする。

III. テ ー タ

○使用糸

経 糸・28中7本片 (200デニール)

緯 糸・玉糸

○使用箆

鯨尺1寸に56目、両羽で使用

○糸染め

経 糸・タ マ ネ ギ……………アルミ媒染
・現 の 証 拠……………錫 媒 染
・一 位……………銅 媒 染
・薔 薇……………鉄 媒 染
・背高泡立ち草……………アルミ媒染

緯 糸・現 の 証 拠……………錫 媒 染
・タ マ ネ ギ……………アルミ媒染

かたぎし のりえ 本学助教授